



埼玉県舞踊協会  
NO.21

# 埼玉県舞踊協会ニュース

## Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会  
発行者：津田 郁子  
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F  
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

### 「協会事務所も開設し順調な年度を迎えました」

会長 津田郁子  
埼玉県舞踊協会の事務所をJR浦和駅近くへ開設して2年たち、仕事も次第に軌道に乗りはじめたようです。埼玉県や市、財団などのご支援をいただき、また協会の皆様、役員・理事の先生方、仕事を引き受けてくれたスタッフの方々など大勢のお力をより、今日に至りました。なかでも藤井公名譽会長より多大なご指導を頂き、やっと今日にたどり着いたと思います。

美術館での作品発表「レオグラファーの目」なども加わり、年間行事が目白押しで、あっという間に、年度末となりました。

埼玉県舞踊協会の特徴は、誰にでも門戸を空け、バレエと現代舞踊が渾然一体となり運営にあたり、県の舞踊基盤を大きく進展しようとしていることです。発足からすでに、39年目を迎える埼玉県のみならず、全国的に影響を与え、特に舞踊コンクールなどは各地で開催されるようになりました。

### 役員改選の年、役員改選の年を迎え2年間の理事の仕事を終えて

会長 津田郁子  
この二年、協会の事業を円滑にごなすことに追われてしまった気がしますが、しかし、結果的には、数々の新しい改革や企画が生まれ、また、各部担当の先生方の活力ある創意工夫を支えられたことに心より感謝いたします。

副会長 藤井利子  
時の流れが加速して感じられる今日この頃「若い足から来るんだナ」と言う公さんの言葉を受けて、「代替え筋力も強化した方がいいよね」と対策運動を話し合う夫婦。「ボンコツも又楽し」と生きる為には、これからやって来る新体験を受け止める為に、先ずは童心に返って、心と頭の柔軟と実験的試みで……と思っています。ダンスも運営もそんな気概でいいのかなア。今期も皆々様の御協力を有り難く感謝申し上げます。

### 副会長 由井カノコ

副会長をお受けして2年間、あっという間に過ぎてしまいました。新しい事務所も軌道にのり、役員会もフレッシュな感覚で出来るような気がしています。世の中は進化して、今年のコングレからインターネットで申し込みとなり、ワープロまでは何とかでしたが、この機会にパソコンに挑戦できたらと思っています。

理事 大岩静江  
振り返れば独自でこれほどの活動をしてきた協会があったでしょうか。諸先輩の方々の地道な努力によって、しっかりとレールが敷かれ、又、創られ私も参加できたことを喜び感謝しています。若い方々の参加を期待しています。

### 理事 河上正子

理事 河上正子  
二年間、埼玉県舞踊協会の行事に御協力下さりありがとうございました。協会行事には非若い方もたくさん参加して下さい。若い方も若きもの協会の、今年も頑張ろうと!!そして、正懸命生きて行きたいです。

理事 佐藤良寛  
色々の協会の事業を、どのように進めていくか、進行を見ているだけのあつという間の二年間だったと思います。事業に対しての考え方、想いを聞いて各先生方の情熱に感謝いたしました。

### 理事 高野尚美

理事 高野尚美  
二年間、色々の仕事を先生方より教えていただきながら勉強をさせていただきました。協会の先生方の協力と団結で私たちが支えられてきたのだなあと。感謝いたしております。二年間、本当にありがとうございました。

理事 中村友美  
協会事務所が開設されて理事が担当の部を受け持つことになりました。いかに受け持つ仕事を無事に進行していくか不安なスタートでしたが、少くも理事副会長他先生方のご指導で終えることが出来ました。

### 理事 新野正代

理事 新野正代  
協会の歴史中、殊に変わった年間でありますが、私的には理事として不意に活動不足で頼みかけた三三年間です。理事を仰せ付けられた優先順位に、藤井会長初め理事の先生方の御支援のおかげで乗り切ることが出来ました。又、年に何度かお会いする会員の方々の笑顔も、永年に渡って繰り返され、今や連帯感を想わせてくださいます。

理事 矢野美登里  
二年間を振り返り、舞踊協会結成以来一番変わった時と思います。藤井会長に変わって津田会長にそれそれ係の担当者も新たに、私は「埼玉全国コンクール」に対し如何に藤井先生が大変だったかと実感した年でした。

### 理事 山本敦子

理事 山本敦子  
時の立つのは早いもの、いざ時間があっても足りません。この二年舞踊協会ニュース編集という仕事に明け暮れました。バエの仕事として趣味となる気がした仕事に出逢えた埼玉県舞踊協会のかかわりです。

### 理事 若松美貴

理事 若松美貴  
ある時代が終わろう。ギリシア時代、平成時代かも知れませんが、壊れたものの修理と捨て去るコトが競合し、あるいは、ジエンド。人心の荒廃を正すコトと人類を滅ぼすコトのどちらが楽か。神は思案中なのかな。

### 彩の国ダンス・セッション 2005



彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
2005年12月18日(日)  
撮影/木上 晃未 [Rebambaramba (Danza del Fuego)]

### 彩の国ダンス・セッション 2005を終えて

2005年12月18日15:00 埼玉県芸術文化振興財団と埼玉県舞踊協会共催の公演を開催する事が出来ました。作品を作った下さい、高野尚美さん、柄沢寿美さん、キューバからのナルシソ・メデイナさん、又コンクール上位入賞で御披露して下さいました。各研究所の先生方及生徒さん舞踊協会の先生方が丸となり協力の基

に年間のしめくくりの12月に盛大な会を創りあげる事が出来ました事に心より感謝して居ります。

ダンサーの方々の空いている時間も違い、各研究所の生徒さんをつまよめあげ振付けをされました。先生方には並ならぬ御苦労が有ったのではないかとお察し致します。

### 評 舞踊評論家 立木燐子

「カリブ海から日本へ、キューバの熱い風、ナルシソ・メデイナを迎えて」と題された公演が、昨年12月18日、彩の国さいたま芸術劇場大ホールで開催された。

### 評 舞踊評論家 立木燐子

「カラブ海から日本へ、キューバの熱い風、ナルシソ・メデイナを迎えて」と題された公演が、昨年12月18日、彩の国さいたま芸術劇場大ホールで開催された。

埼玉県がどの県よりも舞踊の栄えんな県になったのは、クラシックの先生とモダン先生方がつとなり、協会の先生方の献身的かつボランティアのごとく活動が有ったからとそこに改めて協会の歴史を感じさせて頂きました。これからは県民から少し離れた芸術劇場ではなく、もっともと私達にとりまとも県民の皆様にとりましても身近な芸術劇場である様に、更なる御協力と御力添えを頂きたいと、御願い申し上げます。

私は組織に協力し働くのがどちらかというと苦手、要するに自分勝手な人間なのですが、埼玉県舞踊協会には最初こそ勝手が解らず薄いお付き合いが出来なかつたのですが、協会に育てて貰ったという感じが、まづ藤井公さんのお陰です。

一月の末からコンクールの仕事が始まり、毎月色々な仕事をさせて戴くたびに、私たちの先輩方はこうやって道を造ってくださったのかと……仕事が大変になればなるほど感謝の気持ちも大きくなります、ありがとうございます。

「熱い」とにかく「熱い」ワークショップに参加された方は皆「の」のような印象を受けたと思う。巧さ、理論以前の、ダンスを欲する体と魂が、彼のダンスの根底にはある。今回のワークショップは2時間という短い時間の中で行われたが、キューバ国内のダンス事情のわかるビデオや、彼の過去の作品などを見る事が出来た。(彼はこれらのビデオを日本に持参してきている。)これらのビデオを見ると、キューバ国民がダンスと密接な関係にある様子や、そこで育まれた彼の肉体と、ダンスによる魂の昇華の過程を見て取る事が出来る。舞台で作品が発表された場合、その舞台で繰り広げられていることが全てであり、二度と訪れないその時間の中で、私達は感銘を受け、自己を育む。しかし、ワークショップではそこから歩中に踏み込み、その舞踊家を育んできた土壌、社会に触れ、彼を体験する事で、違った角度から自分を豊かにする



撮影/木上 晃未 [妖精の庭]



撮影/木上 晃未 [雑草]

「雑草」は、この日のゲスト、ナルシソ・メデイナと舞踊団「Rebambaramba (Danza del Fuego)」が上演された。1997年の第9回埼玉国際舞踊コンクール大賞受賞者、緻密な構成、演出が光る舞台は、力量を感じさせる上、何よりも踊りのダイナミクスが圧倒的だ。舞台は

今回のワークショップでこの域まで行けた事は反省の限りだが、ダンスセッションの出演者を受けた22名のダンサーは、ナルシソ・メデイナ氏と共に熱く踊りまくり、ダンスの情熱を再確認していた。(2005年12月21日さいたま市文化センター1ホールに於いて)

# 第39回 バレエ・モダンダンス フェスティバル

川口リリアメインホール

撮影/木上 見未

Bプロ 3月12日(日)

Aプロ 3月11日(土)

撮影/木上 見未

### 評 舞踊評論家 木村英一

初日(3月11日A組)は、深田・島村、和泉由留、藤井公・利子・高野尚美、山路瑠美子、市川華代、原島マヤ、川名今朝美、吉田久木子、窪内絹子、大岩静江の10団体の出演。出演の子供たちも、観衆の親子連れも、みんなみな楽しそうだった。

子供たちの演技の巧拙を個々に論じては始まらない。将来ダンサーになる子はそのほかには、必ずだか。だが将来、舞踊ファンになる可能性の萌芽はここにあるから、どうしてもみんなに舞踊好きになってほしい。だから大舞台出演という希なる機会を親子ともども大いにエンジョイしてくれたのは嬉しい。

津田郁子会長がプログラム・ブックの巻頭言で言っているように、「子供の」教育の根幹である舞がどうも欠けている。舞踊は身体的美を追求するついでであり健康美だと思ふ」というのは同感だ。近頃の子は挨拶や返事がどうも物足りないとか、自

### 評 舞踊評論家 うらわまこと

埼玉県舞踊協会の会員の生徒さんによる、ジュニアの祭典ともいえる「バレエ・モダンダンス・フェスティバル」。第39回の今回も2日間におたつて、21団体約70名が出演、賑やかに開催されました。会員の作品に先立ち昨年の埼玉全国舞踊コンクールの上位入賞者の演技が披露されるのも、恒例ながら大変よいことですね。

2日目は11団体の出演。バレエ系は6、幼い子も見られ、無理してトウシューズを履かせていないのもよい傾向です。なかではバレエ団ピッコロ付属研究所(松崎すみ子)の「小春日和」。動物や虫などの衣装で子供たちらしさを見せながら、厳しい季節のなかのほつとしたやすらぎの時を描きました。

由井カナコバレエ研究所の「コメディアン」ジュニアの男女をリーダーとして児童たちをうまく組み合わせていましたが、タイトルの雰囲気

己中心だとかいう声をよく聞く。技術の前にはまず、情操教育、美に対する感受性の養成が大事だ。団体で出る舞踊は、社会性や協調性の基礎訓練にも最適なもののつだ。

朝日新聞に「ふだんクラシック音楽を聴きますか?」という調査が出ていた(3月11日付)。

己中心だとかいう声をよく聞く。技術の前にはまず、情操教育、美に対する感受性の養成が大事だ。団体で出る舞踊は、社会性や協調性の基礎訓練にも最適なもののつだ。

### コレオグラファーの目

中村友美・上田仁美モダンバレエの「地球はメリーゴランド」(振付上田仁美)は、豊富な踊れるダンスをグループ分けして、いろいろな側面とその集合を描いている。さらに独特のリズムと動きをシ

己中心だとかいう声をよく聞く。技術の前にはまず、情操教育、美に対する感受性の養成が大事だ。団体で出る舞踊は、社会性や協調性の基礎訓練にも最適なもののつだ。

## 生臭(なまぐさ)い舞いに思う 若松 美黄

白州正子著「お能」を最初に読んだのは、小学校4年生の時だった。能について未知であり、能とはどんなものか見たこともなかったが、その身体表現に不思議な興味を覚えた。白州正子さんの著作は、その後も、何冊も、手にした。彼女は、50歳にして能を演ずることを断念して各地を旅し、特に民芸品などを発掘した。彼女の鑑賞眼は高く、随筆家としても注目され、また彼女の生活の芸術化ぶりも、好事家には、良く知られている。この2月、NHKで細川元総理が、細川家の能楽師の話から、白州さんのことに触れ「女に能は舞えない。女は男を演じることが出来るが、女が女を演じるのは難しい。女が女を演じれば、生臭くなる」と語ったエピソードを紹介した。久しぶりに、白州さんのことを思い出した。

現代舞踊では、1950年代あたりから、オブジェという観念が普及し、現在のインスタレーション、エディションなどと同じに、ナマの素材を作品に放り込むことが、多く見られた。1962年だったか、魚河岸で150キロくらいの大きな雑魚を買い、砂防会館の舞台上で切り刻んだ。衣装が生臭くなり、一週間は、においが取れなかった。土方異君と、裸体にカミソリを指に挟み、自らの身体を叫し切り、血を流す舞台も、このころ行った。こうした傾向は、取り澄ました舞台の虚構に対して、やりきれない苛立ちや現実感を持ち込み、異化をはかる手段でもあった。戦後の不信の時代の私たち若者は、ナマの現実から隔離され、操作されていると感じていたのである。

60年代末のポストモダン、リオタールの指摘したように、同時代の多様化した価値に光りあて、70年代には、モダンの大量生産・効率型の「大きな物語の消滅」をもたらした、何よりも消費形態を変えた。21世紀に入ると、小さな結社のグループが乱立し、どこに進むのかその方向性も拡散した。身体は回復を叫ぶ方向性も拡散したし、第一、身体感覚自体が鈍磨した。実感映像メディアの虚構となってしまい、結局のところフォーマリズムないしは、再・再度の古典主義に帰っている。このような時代に「女が女を演じれば、生臭くなる」とは何とビミョウな発言だろう。

「女が男を演ずることができる」とは、男のこのころざしを演ずることで男を表現できるからであり、男が女を演ずるとは、同じように女のこのころざしに焦点を当て、女を虚構化するのだから。女が女を表現する時、このころざしに女の現実感、その情念・肉体が附着し、それが生臭く見えると理解できる。しかし生臭さはいざさかの瑕疵にならない時代だ。女流小説家が活躍し、現代舞踊もまた、若い女性の等身大の自己表現が主流だ。だが、突き抜けない日常化した生臭さの累積に、いざさか辟易もしている。

発想を変える手もあるのではなからうか。糞(みそぎ)や齋戒沐浴(さいかいもくよく)に学ばずなり、あるいは居直って、念仏踊りの易業道(いぎょうどう)で疾走するも良いだろう。ビミョウを逆手にとり、伝統を讀み直すのも十分に成立するのではないか。

埼玉県民芸術文化祭2006 参加

### 第39回 埼玉全国舞踊コンクール2006

【会場】さいたま市文化センター 大ホール・小ホール(入場無料)  
【日時】2006年7月23日(日)～29日(土)  
【主催】埼玉県舞踊協会(共催)(財)さいたま市文化振興事業団

| 期日      | 大ホール          | 小ホール          |
|---------|---------------|---------------|
| 7/23(日) | ジュニア部クラシック予選  | 1部(成人)モダン予選   |
| 24(月)   | ジュニア部クラシック予選  | 1部(成人)クラシック予選 |
| 25(火)   | 2部(児童)クラシック予選 | ジュニア部モダン予選    |
| 26(水)   | 2部(児童)クラシック予選 | 2部(児童)モダン予選   |
| 27(木)   | ジュニア部クラシック決選  | ジュニア部モダン決選    |
| 28(金)   | 2部(児童)クラシック決選 | 2部(児童)モダン決選   |
| 29(土)   | 1部(成人)クラシック決選 | 1部(成人)モダン決選   |

今年から、ホームページからのみの受付になりました。  
【埼玉舞踊協会ホームページ】  
<http://www.saitamaken-buyoukyokai.jp>

### 美術館ハフォーオオマンス コレオグラファーの目

2006年3月19日(日) 15:00より  
埼玉県立近代美術館に於いて「第4期 常設展『百花繚乱』仮植物園をダンスとして表現する」  
新入試「コレオグラファーの目」が開催されました。これは、埼玉県立近代美術館が館内の無料スペースをダンスパフォーマンスのために提供し、若手舞踊家の育成と、美術・舞踊双方の発展を目的として試みて。作者と出演者は次の通り。赤松愛子、市川潮朗子、植木結子、江積志織、岡野満紀子、海保水麻衣子、すずきまこと、高野尚美、高橋純、ダンスグループばわるとこと、西川末幸子、野川真理子、林洋子、藤井香、吉宿瑠美、松崎すみ子、松元日奈子、美濃山早紀、山口弓貴子、山辺千秋(五十音順)  
※尚、公演は、盛会のうちに終了、感想は、次号の新聞に掲載させていただきます。

モダン2部 第1位 小川 真奈  
モダンジュニア 第1位 新保 恵

お詫言  
前20号のコンクール優勝者の写真において、モダンジュニア部とモダン2部のお二人の写真が、掲載間違えをさせていただきます。訂正させていただきますお詫言申し上げます。

お知らせ  
平成18年度 第40回 埼玉県舞踊協会総会  
2006年6月25日(日) 開催  
さいたま市市民会館 うらわ後日、別紙にてお知らせいたします。  
〒112-0001

協会員慶弔報告  
※おめでどうございます  
佐多達枝氏 旭日小綬章  
平多武氏氏 旭日双光章を受章されました。お二人の受賞を協会ニュースにおいてお祝い申し上げます。  
※冥福をお祈りいたします  
2月9日 襲名男氏(井村恭子先生ご主人) 御逝去 埼玉県舞踊協会設立事には、大変お世話になりました。

編集後記  
この年になり初めての経験、広報の仕事も体験中、日々努力、すこしでも皆様の役に立ちたいと、活字に残す、一人前になるまでまだまだ時間がかかります。だから、パーフェクトに挑戦中。 広報部 山本敦子

- #### 協会員催し物のご案内
- 2006年4月～2006年10月
- 吉田久木子モダンバレエ研究所 第31回発表会 4/1(土) 14:30 クレアこゆうのす 048(54)10926 吉田久木子
  - 第10回和泉由留バレエスタジオ発表会 04/8(日) 12:30 影の国(大宮東区)大ホール 048(66)43367 和泉由留
  - 第10回ダンスフォーラム・コンサート 04/23(日) 14:00 埼玉県大ホール 048(66)5811 伊藤由希
  - 第48回発表会・佐多達枝・河内昭和バレエスタジオ 04/23(日) 17:30 なかのZEROホール 048(66)43385 佐多達枝
  - 山中有子モダンバレエスタジオ発表会 04/29(土) 16:00 聖堂多摩ステーション大ホール 048(54)21377 出雲多摩多子
  - 山路瑠美子バレエ研究所発表会 04/30(日) 16:30 世田谷区民会館 03(34)61910 山路八上研究所
  - 山本敦子バレエスタジオ創立周年記念公演白鳥の湖 04/30(日) 16:30 さいたま市文化センター 大ホール 048(66)35117 山本敦子
  - マンナバレエスタジオ発表会 05/4(木) 16:30 北とぴあ大ホール 03(69)00022900 菅原千早
  - 第52回津田・若松モダンバレエ生徒発表会 05/7(日) 15:00 埼玉県大ホール 048(66)939410 津田郁子・若松美貴
  - 佐々木モダンバレエスタジオ 35周年記念発表会 04/18(日) 15:00 坂戸市文化会館 048(47)45134 坂戸市文化会館
  - 中村友美・上田仁美モダンバレエ第33回発表会 04/25(日) 13:30 春日部市民会館 大ホール 048(73)435004 中村友美
  - 06佐多達枝バレエ公演 07/4(火) 5(水) 東京郵便貯金ホール 03(69)06080 佐多達枝
  - フジサトバレエスタジオ第48回発表会 07/8(土) 15:00 練馬文化センター 大ホール 03(69)090522218 藤里昭子
  - バレエ団ピッコロ付属研究所 第45回記念発表会 07/15(土) 15:00 練馬文化センター 大ホール 03(69)090521476 松崎すみ子
  - 第6回伊藤翠子バレエスタジオ定期発表会 07/16(日) 17:00 埼玉県大ホール 049(66)62644 伊藤翠子
  - 由井カナコバレエ研究所フカヤバレエ教室発表会 07/16(日) 16:00 無雙化道館(本郷ホール) 048(66)6663388 由井カナコバレエ研究所
  - 山路瑠美子主催バレエ・フェスティバル 07/17(日) 16:00 多摩市民会館 03(34)6691468 山路八上研究所
  - 佐藤バレエ・パフォーマンス(19日) 08/19(土) 14:00 春日部市民文化会館 大ホール 048(76)10901 佐藤良寛
  - 文月玲バレエスタジオ第9回発表会 09/8(日) 16:00 熊谷会館 048(66)5445 文月玲
  - 窪内絹子モダンバレエ研究所第20回生徒発表会 09/10(日) 16:30 川口リリアメインホール 048(66)6447 窪内絹子
  - Docoolors 第4回公演 a+b [e] 10/28(土) 19:30 全労済ホール スペース・ゼロ 048(66)2667 沼手多美
  - ファイスタスタバニーバレエフェスティバル11th 04/28(土) 川口文化交流センターリリアホール 048(66)2818 担当和多